資料4

住民意見交換会の結果報告について

町民意見交換会の実施

　乗降調査やアンケートでは見えてこない「地域の生活における交通の役割」や「今後に期待すること」などの声を直接聞く機会として意見交換会を実施いたしました。

開催場所：豊浦町内5か所
（北部方面1か所、本町地区2か所、大岸地区1か所、礼文華地区1か所）

対 象 者 ：各地域の町民

実 施 日 ：令和6年10月17日(木)・18日(金)

啓発方法：町のホームページと町公式LINEでアナウンスを実施。
あわせて10月10日（木）配布の町広報に案内チラシを折り込み、啓発を実施。

参加者数：13名

北部地区

豊浦町の北側大部分を占める北部地区は、地域の多くが山林となっており、人口規模の大きくない集落が点在している。

人　口：285人（世帯数：157）

自治会：７自治会（桜、大和、美和、山梨、新山梨、上泉、新富）

産　業：畜産業（牛、豚）、農業、林業従事者が多く、大和地区に障害者施設がある

買い物：生活用品、食料品店舗は無い

交　通：町営バス「山梨線」が本町地区から町の東側～北東部に位置する桜地区、大和地区、山梨地区を運行

北部地区における意見（大和多目的集会所：参加者３名）

- 運転をやめて公共交通で移動せざるを得なくなった人がいたが、**移動にとても時間がかかり不便な様子**であった。
- 公共交通を使うにも、乗り継ぎが不便なので、**運転をしたくないが自動車を利用している。**
- そういう地域なので、町営バスを利用している人は小中学生以外ほぼいない。
- 高齢者だけでなく、**高校生を含む子どもたちも移動に苦慮している。**
- 送迎する保護者の負担も大きく、**年間で４万キロの走行距離である。**
- 本音を言うと、**生活しやすい町に引っ越したほうがいい**と思っている。
- 町内の病院はあまり利用しておらず、伊達市や室蘭市に通院している。
- 行政が**どこまで移動支援をしてくれるのか不安**がある。町営バスやスクールバスもいずれ無くなるのではないか。
- 北部地区は人口が少ないが面積が広いので、自治会の合併も難しい。
- 人口が少なく交通に対するニーズは少ないかもしれないが、しっかりと課題を把握してほしい。
- どのような公共交通の形が理想か、**地域の「寄り添う形」を検討する必要**があると考える。
- 町の財政が厳しいという話を聞くと、**声を上げるのもためらわれる。**

大岸地区

豊浦町の南側沿岸部の中央に位置する大岸地区は、豊浦町役場のある地域（本町地区）に次いで人口の多い地域である。

人　口：405人（世帯数：251）

自治会：1自治会（大岸）

産　業：漁業、農業従事者が多く、保育所、介護サービス施設がある

買い物：小規模の生活用品、食料品店舗があるが地区の規模を満たしていない

交　通：町営バス「礼文華線」とコミュニティバス「礼文華・大岸コース」が通過する
JR大岸駅（室蘭本線：無人駅）
高速道路IC（豊浦IC）

大岸地区における意見（大岸いきいきセンター：参加者６名）

- バス停まで**歩くのが困難な方や、乗降が大変な方が利用を控えている。**
- 移送サービス（福祉有償運送）を使用したいが、**要支援認定相当までには至っていない。**
- バスだと荷物が運べず、**高齢者の買い物利用は難しい。**
- コミュニティバスを**有償にすることで便利に**なるならそうしてほしい。
- 運行中に時間調整で停車しているバスを頻繁に見かけるが、ダイヤの修正が必要ではないか。
- 土日もバスを運行してほしい。
- JRは豊浦駅で折り返す便が多く、**大岸駅、礼文駅の便数が少ない。**
- 大岸や礼文華に住みたくても、**交通が不便だから住まない人もいる。**
- 町営バスの運賃や運行情報など、**わかりやすくする配慮**をしてほしい。
- 子どもがシュタイナー学園にバスで通学しているが、帰りの時間が合わず送迎を行っている。運行状況などが分かる仕組みがあると保護者も対応しやすい。
- 通院等で大岸から伊達市まで行くには、**３回も乗り換えが必要となり不便。**
- 駅の廃止という話も聞くが、廃止になると**高校生は通学ができなくなる。**
- 目的地に対し、どの時間帯が適正か考えてほしい。

礼文華地区

豊浦町の南西部かつ沿岸部の西側に位置する礼文華地区は、本町地区から自動車で25分程度の距離に位置している。

人　口：318人（世帯数：181）

自治会：1自治会（礼文華）

産　業：漁業、農業従事者が多く、認可外保育園がある

買い物：生活用品、食料品店舗は無い

交　通：町営バス「礼文華線」とコミュニティバス「礼文華・大岸コース」の終着点

JR礼文駅（室蘭本線：無人駅）

JR小幌駅（室蘭本線：無人駅）

礼文華地区における意見（礼文華生活館：参加者４名）

- 月１回、伊達市の病院に通院しているが、道南バス「豊浦線」の廃止に係る路線の再編により、伊達市までの移動に**これまでより３０分は待つ時間が増えた。**
- 午後の通院となると待ち時間はさらに長くなり、**家に着くのは２０時頃**になってしまう。
- 豊浦駅は階段の高さがきつく、**ホームへの移動が大変**で、後ろから来る学生にせかされることもある。
- 町営バスも乗降口が狭く、**荷物を持った乗り降りが不便。**
- **近くに買い物ができる場所が無い**ことから、主に「トドック」や「おまかせ便カケル」などのサービスを利用して生活品の買い物を行っている。
- 土日は町営バス、コミュニティバスが運休のため、ほとんど移動できない。**毎週でなくても良いので運行してほしい。**
- 免許返納を考えなければと思うが、**公共交通だけでは生活が難しい。**
- **JRの便数が少ない**、日中の利用はほとんどできない。
- コミュニティバスは無料だが、運賃負担をするので**利便性が良くなるよう見直してほしい。**
- 温泉しおさいに行く人が多いせいか、**月・水・金にコミュニティバスが混んで一回で乗れない**こともある。

本町地区

役場をはじめ、病院や学校などの公共施設が集約している豊浦町の中心地。

人　口：2,414人（世帯数：1,351）

自治会：18自治会

産　業：病院、学校、役場、温泉施設など公共施設が集積しており、従事者も多様

買い物：コンビニ２件、ホームストア１件

交　通：町営バス「山梨線」「礼文華線」とコミュニティバス「いちごコース」「ほたてコース」の発着点

道南バス（洞爺湖温泉線）の終着点

JR豊浦駅（室蘭本線：無人駅）

本町地区における意見（豊浦町中央公民館、豊浦町社会館）

参加者0名

意見交換会から読み取れる地域の課題

- 公共交通のニーズは高齢者と学生に多く、どの地域においてもそれぞれの生活行動に即した運行が求められている。
- 既存の公共交通の車両や施設は、利用者が使いやすくする工夫と情報発信が求められている。
- 高齢者は免許返納をしてしまうと生活が継続できないという危機感を持っていて返納ができない。
- 運行時間や乗り継ぎの多さなどを考えると、公共交通が接続できれば良いということではない。
- 現役世代にとっては自家用車の所有が当たり前であり、公共交通に対する問題意識が薄く、子どもの移動ニーズも送迎で対応している。